

# 最重点課題として部落問題を 対市長交渉

和歌山市役所で9月10日、尾花正啓市長、各局長と和歌山市執行委員、支部長を含め36人で対市長交渉をした。

ブロックを代表して瀧口・議長から「政策協定では、部落差別があるかぎり、市として最重点課題として部落問題解決にとりくむという今までの市長との約束を継続してもらいたい」とあいさつした。



就任した尾花正啓・市長との交渉

次に尾花・市長からブロックのみなさまには大変お世話になりました。電話による差別問い合わせなど、今後差別のない社会をめざしてがんばるとあいさつした。

交渉は、藤本・事務局長の司会

## 今後の日程

- 11 / 1 女性部狭山現地研修 (狭山市)
- 11 / 6 対和歌山県交渉 (アバローム紀の国)
- 11 / 7 ランチ TIME デモ
- 11 / 10 ~ 11 第25回高齢者交流集会および高齢者連絡協議会第24回総会 (兵庫県)
- 11 / 15 ふれあい人権フェスタ2014 (ビッグホエール)
- 11 / 20 第2回全国農林漁業運動部長会議・現地視察 (京都市)
- 11 / 21 狭山ピラ統一行動
- 11 / 29 ~ 30 第37回全国人権保育研究集会 (滋賀県)

「部落差別の実態について、今後の同和行政の基本方向について」おこなった。また、本人通知制度が昨年導入されたが、登録は本庁にいかなくてもできるよう整理してほしいと要求した。また、現業職員についても、しんどい時に部

落の人が働いてきたにもかかわらず、民間委託されて以降、雇用が狭められている。今後の新たな採用については、ブロックとの事前協議を求めた。

## 意義のある集会を 人権保育研究集会

企画運営  
委員会

第37回人権保育研究集会に向けた第2回企画運営会議が8月20日、滋賀県大津合同庁舎でひらかれ、7府県から約20人が参加した。

はじめに、安田茂樹・企画運営委員長から「これまでの保育集会の成果と意義をふまえ、よりよい集会にするため、率直な議論をお願いしたい」とあいさつした。日程確認と基調提案の説明のあと、これまでの分科会の運営方法について議論が交わされた。集会参加者が保育するなかで疑問におもったことが解決したり、今後の励みになるような集いが望ましいのではないか。また、分科会で報告する内容が完結していなく

## 岩出支部 女性部結成大会

岩出支部女性部結成大会が9月3日、岩出市曾屋集会所でおこなわれ、山本昌代女性対策部長から嘉村美千代岩出支部女性部部长に荊冠旗が手渡された。

山本女性対策部長は「和歌山県下で21支部目の女性部となる。「女性がかわれれば部落が変わる」と言われていたように、女性が力を付け解放運動を盛り上げていきたいと思います」と激励のあいさつをした。



新しい荊冠旗のもとで

## 改正で 変更点を説明 改正介護保険制度

来々4月から開始する「改正介護保険制度」について8月26日、同和企業センターにて、県から森修司・長寿社会課課長、中山誠司・介護保険班班長、県連から平見良太・生活福祉運動部長、山本昌代・同部長、松井資喜・同部長、宮本陸・同対策部員、事務局3人が参加した。

中山・班長から変更点や2年の移行期間があることなどが説明された。この制度の実施主体は市町村となるため、介護認定などで支障がでることのないよう求めた。

## 隣保館の活用と 各市町村での 計画の策定を 地域福祉計画

和歌山県地域福祉計画の改正の説明会を9月4日、田中義文・県福祉保健総務課課長、中尾修・社会福祉班長、雑賀理栄・同主任、県連から池田・副委員長、藤本・書記長、松井辰也・生活福祉運動部副部長、山本・同副部長、磯岡和也・同部長、宮本・同対策部員、事務局2人が参加し、同和企業センターでひらいた。「支え合い」が和歌山で暮らすみんなの合言葉にテーマに改正ポイントが説明された。

## 支局からの お知らせ



お気軽にお電話を!

和歌山支局では、各支部でのとりくみを積極的に紹介していきたいと思えます。支部活動や子ども会活動など、支局までお知らせいただければ、取材に走ります。もちろん、投稿記事も大歓迎！ 写真を添えて支局までお送り下さい。(発送先) 〒640-8314 和歌山市神前405-3 部落解放同盟連合会内 解放新聞和歌山支局宛